一般社団法人
日本褒め言葉カード
協会

褒め言葉カード アドバンス講座

研修の狙い

“褒め言葉カード” インストラクターになりたい方へ！！

新カリキュラムの褒め言葉カードアドバンスインストラクター養成講座について開講の趣旨をお話しいたします。2500 年前に老子は「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。やったことは、わかる」と言ったそうです。この老子の言葉を記憶に残る割合として数字で表現すると、聞いた時１０％、見た時１５％、話し合った時４０％、体験した時８０％、そして、教えたときは９０％が記憶に残るというデータがあります。（参考ラーニングピラミッド）褒め言葉カードインストラクター養成講座は、「楽しく習う」楽習モデルを使ったインストラクターを養成する講座です。戦後学校教育は「工場モデル」と言われ、画一的な単純作業を行う人を育成するプログラムが中心でした。社員研修で主流となっている講師が一方的に話しをする「工場モデル」は「真面目、受け身的な学習、つまらない、競争」と言うイメージがします。一方、「楽習モデル」は「明るく、笑いがあり、出会いがあり、動きがある」教育方法です。主役は受講生です。受講生が「気づき」「学ぶ」ことにより、笑いを持ち、お互いの理解を深めあい、成長することができます。そして、このような研修のノウハウを学んで活用できると、コミュニケーションの活性化ができて、より良き人間関係を構築することができるのです。その楽習メソッドをしっかりと学ぶことができるのが、今回の褒め言葉カードインストラクター養成講座です。

＊ベーシック講座受講者だけがアドバンスセミナーの受講資格があります。

[特典]⇒褒め言葉カード協会オリジナルの褒め言葉カード研修のコンテンツの提供
～翌日から、褒め言葉カード研修のインストラクターができるようになります。
※“褒め言葉カード”は商標登録商品です。許可なくご利用することはできません。

特 典!

【受講料】１０万円＋消費税（１日間集中講座）

早期割引実施「7万円＋消費税」（７５６００円）８月末日までの申し込み限定

＊内訳　講座受講料と商標登録商品年間使用料込み（来年９月 30 日まで）

1、楽習メソッド活用　⇒　受講者が楽しく学び、自己成長を実感できる手法(テキスト学習)

1）工場モデルと楽習モデルの違い（学びスタイル、講師の役割、講師の関心、受講生のゴール、学びの環境、仲間の存在、アフターフォロー）
2）ラーニングピラミッド　3）受講してつまらなかった講座の特徴　4）教わりたくない講師例　5)講師として必要なこと（講座内容と資質）
6)教え方の基本（人は学びたいことしか学ばない、積極的に参加意欲を持つと学びの質・量が飛躍的に増える、学ぶ意味・価値を認めると積極的に学ぶ、安心して学べる環境が必要、協力して学ぶと効果は高い、振り返りとフィードバックがあると良く学べる、お互いに称えあったり、教えあったりすると良く学べる。7）楽習モデルの場の作り方（緊張をほぐす、笑いを演出、意見が出やすいようにする、参加者が親しくなる。

2. 褒め言葉カード研修体験　⇒　仕事もプライベートも明るく元気になる10個の実習体験と褒め言葉カード講師研修（翌日から講師ができます）＊時間の都合で割愛する実習もあります。

1）ストローク講義　2)アイコンタクト・あいさつ実習　3)ハッピー＆スマイル　4)どちらが好きか実習　5)褒め言葉あいうえお実習
6)即効褒める実習　7)拍手の実習8）叱るコツの講義9)早口言葉実習、10)褒め言葉カード講師研修

3、参加特典

1)企業様向けプレゼン用パワーポイント資料のデータ提供　2)以後の褒め言葉カードベーシックセミナー参加無料（年内有効）

◆日程　東京開催10時～18時
・第8回　9月24日（土）
・会場　浅草文化観光センター中会議室4F
◆日程　大阪開催10時～18時
第8回　9月29日（木）
・会場　此花会館502会議室
・振込先：みずほ銀行　雷門支店
（普）1059498
一般社団法人日本褒め言葉カード協会

お問合せは
下記へ

一般社団法人日本褒め言葉カード協会　東京都台東区花川戸 1-2 番８号 9F　TEL03-6231-6043